

# 自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

報告書の内容については、成田市内及び富里市内の県立高等学校の教職員にも開示して意見を求めた上で

外部の有識者を含む学校法人理事会及び評議員会へ報告し、承認を受けました。

注：昨年度評価より点数の変更があった場合は赤字で表示している



KONOIKE  
GROUP

学校法人翔陽学園  
成田航空ビジネス専門学校

平成29年4月30日作成

# 成田航空ビジネス専門学校

平成29年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・ 目的・ 育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められているか。	4.8	理念・目的と育成すべき人材像を、わかりやすく、かつ具体的に示し、教職員・学生に周知した。
	学校の特色はなにか。	4.7	航空・ホテル・観光業界を担う事が出来る、自立し実践的な人材を育成する。1人1人の個性を見極めて、考える力とコミュニケーション能力を育てるよう指導した。
	学校の将来構想を抱いているか。	4.7	航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人材を育てる事により、選ばれる専門学校として、社会的に認知され信頼される学校を目指した。
	全体	4.7	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.1	コストパフォーマンスを検討して、より効率的な予算執行を心がけた。施設・備品の老朽化と学生数増加に対応する為、より費用対効果の高いもの、より優先度の高いものから支出した。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.2	適宜見直したが、特に改訂を必要とする項目はなかった。
	自己点検・自己評価の確実な実施と 第三者評価に対応した評価システムへのステップアップに対する準備	4.7	平成26年度から成田市内及び富里市内にある千葉県立高等学校各校に意見を求めた上で、外部学識経験者を含む評議員会・理事会へも報告して透明性を更に高めた。今後は外部評価を目指して行く。
	全体	4.3	
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。	4.3	教務・事務担当による年間及び月間スケジュール管理により改善されたが、より早い段階で計画し、情報を共有する事で事前に十分な準備が出来るようにする。朝のブリーフィング(毎日)、定例ミーティング(毎週)等を通じてスタッフ間の情報共有を図った。講師会及び非常勤を含む担当講師のミーティングを随時行って、現状及び解決策について情報を共有して、共通の認識を持って学生を指導出来る体制を目指した。共通データベースを構築する事で更に情報共有を促進する。28年度入学生より進研ゼミの入学前学習プログラムを導入し、入学前に基礎学力の底上げを目指した。
	業務スケジュールをスタッフ間で共有し、 お互いにサポート出来る体制とする。		

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

# 成田航空ビジネス専門学校

平成29年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準3 教育活動	英語力アップ。	4.9	就職に役立つように学力強化の時間に学習習慣を身に付けさせるようにした。
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.9	各種資格試験の重要度を再評価して整理した。校長賞・奨励賞・受験料補助を整理して受験率を向上させた。27年度よりサービス介助士資格取得を開始した。
	授業内容を強化する。	4.3	各教科の目標とシラバスを明確にして講師が共有出来るようにした。 新個別指導シートを導入して担任・副担任の間の情報共有をサポートし、個人面談の回数を増やし、個別指導を強化した。 講師及び学生の授業アンケート結果を適宜Feed Backして内容を強化充実した。
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdateする。	4.6	研究講座、航空観光概論等の専門科目を中心に学習項目及び内容を整理した。 来年度に向けて、更に実践的な内容とすべく改善を加えた。 Active Learningを導入して学生の考え・発表する力を伸ばすよう努めた。
	全体	4.7	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られているか。	4.6	就職活動に役立つ各種資格のニーズを再評価し、より重要度の高いもの優先するよう整理した。28年度よりIATA Airport College INTLのe-learningを導入。
	退学率の低減が図られているか。	4.3	1年次より担任・副担任との連携で個別指導と学力強化を積極的に行い指導してきたが、退学者7名(9.2%)と増加した。(別に6名が休学し海外留学)
	全体	4.5	
基準5 学生支援	「平成27年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.8	iPadを使用した授業が定着しつつあり、更に有効に活用する事を目指した。
	「キャリア講座」及び「社会人基礎力養成講座」の充実。	4.8	キャリア講座及び社会人基礎力養成講座の内容をリンクさせ、又夫々の学生の特性を把握し、副担任を中心に個別にフォローする事で、基礎力及びメンタルの強化を図った。 エントリーシートの指導を継続的に行い、フィードバックする事で、効果を上げた。
	就職指導の効果的・効率的実施。	4.8	面談、進路相談を継続的に実施、学生が内面・外観共に成長出来るよう指導した。 内定後もモチベーションを高め、更に資格取得、レベルアップを目指させ、効果を上げた。
	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.8	企業との信頼関係は良好に保てた。ナリビ生が各企業で活躍し、離職率も低い事が高く評価されているので、より本校に対する信頼が強くなっている。
	就職率達成目標(100%)を目指す。	5.0	11年連続就職内定率100%達成(但し卒業生の内、就職を希望しない者を除く)

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

# 成田航空ビジネス専門学校

平成29年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	CA合格者	4.8	平成28年度卒はANA 2名を含み計9名がCAに採用された。
	全体	4.8	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設（教室備品等）および、規則（利用、運用規則等）等の検討整備を行う。	4.0	教育効果を向上させる為に必要な施設整備、備品の補充を行なった。 iPadをより活用する為、WiFi環境を改善した。ICT対応型prtojectorを整備した。 今後更に、より質の高い教育環境を提供出来るよう、施設、運用の改善を図る。
	全体	4.0	
基準7 学生募集と 受け入れ	専門学校の定員を確保する。	4.5	平成26～28年度はほぼ定員を確保したが、29年度は定員を確保出来なかった。 今後は定員確保を目指すと共に、より意欲・学力の高い学生を集める。
	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間、土曜にも開催し生徒、ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	4.8	オープンキャンパスを生徒及び父兄の要望に応じ柔軟に対応し、好評であった。 実施内容を見直し、より本校の特色を簡潔にアピール出来るようにした。 開催日は各高校の行事を考慮して変更し、柔軟に対応した。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	4.5	高校内説明会は重点校を中心に積極的に対応した。費用対効果の低い会場 アイダンスは絞り込んで対応し、遠隔地は資料配布で対象者の情報を入手した。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.8	ホームページ・バンナーの変更により、ホームページ、スマホサイト、Facebookと連携させてアピールした。高校生の主流であるTwitterによる情報発信も開始した。
	学校訪問のプライオリティー付け。	4.5	対象校を過去の入学実績等で区別し重点校を中心に学校訪問を行った。
全体	4.6		
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4.5	入学者を維持し28年度も黒字を確保した。29年度も黒字で自己資金で運営資金は充足出来る見込みだが、施設改修費用等を確保する必要がある。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.6	学校の財務体質を強化しつつ、品質をあげる事を目指して年度予算を作成している。 学校会計基準に従い財務諸表が作成され、予算と収支管理が行われている。
	全体	4.6	
基準9 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.7	法令、設置基準に係わる事例はなく、適正に運営された。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

## 成田航空ビジネス専門学校

平成29年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
<b>基準9 法令等の遵守</b>	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4.5	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施している。情報漏えいを防ぐ為に、個人情報取扱い規定を教職員に徹底した。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4.6	教職員による自己点検・自己評価を行い、成田・富里市内の県立高校教職員に意見を求めた上で、外部の有識者を含む学校法人評議員会及び理事会へも報告し承認を受けた。
	自己点検・自己評価結果を公開しているか。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページで公表している。
	<b>全 体</b>	<b>4.7</b>	
<b>基準10 社会貢献</b>	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	4.7	成田の3大行事(太鼓祭り、祇園祭り、御利生祭)並びに地元行事(公津みらい祭、公津フェスタ)に学生ボランティアとして参加させ、社会性を学ばせ、地域社会への貢献を実践した。学生が主体的に動くようにも工夫した。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献しているか。	4.7	英会話は各種短期コースを開催して個別のニーズに答えた会員拡大を目指し、年度末で昨年度対比21名増(4.1%増)となった。 企業研修にも積極的に取り込み、地元の名店「なごみの米屋」の研修を継続した事に加えNAA(成田国際空港株式会社)グループ企業のCS研修を受注して、成田空港におけるCS向上にも貢献した。今年度はNAA Ramp Controller英語研修も受注した。
	<b>全 体</b>	<b>4.7</b>	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

### 自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※別添資料1 専門学校学生数の推移

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
入学生	41	79	84	81	76	58
進級者	41	35	70	70	77	65
在籍数	82	114	154	151	153	123

※別添資料2 平成28年度卒業生就職先

CA	ANA	2	JTA(日本トランス オーション航空)	1
	ANAウイングス	1	春秋航空日本	5
			小計	9
GS	ANA成田エアポートサービス	10	日本レストラン(グランクラス)	2
	ANAエアポート サービス	4	(グリーンアテンダント)	1
	ANASカイビルサービス	4	羽田エアグランドサービス	1
	JALスカイ	7	リムジン パッセンジャー サービス	2
	空港ターミナルサービス(ATS)	4	ANAテレマート	2
	羽田旅客サービス	1	NAAリテイリング	1
			小計	39
AC	NCAジャパン	2	東京国際空港上屋(TIACT)	3
	ANAエアポート サービス	2	日新エアカーゴ	1
	ANA成田エアポート サービス	3	日本トライフックサービス	1
	JALカーゴサービス	1	アジアエアポートサービス	2
	国際空港上屋(IACT)	3	小計	18
HT	帝国ホテル	1	ホテルオークラ東京ベイ	1
	パークハイアット東京	1	セルリアンタワー東急ホテル	1
	東京ベイ舞浜クラブリゾート	1	日本ホテル	2
			小計	7
その他	湯島天満宮	1	小計	1
		合計		74

※別添資料3

資格		27年度生	28年度生	
英語	TOEIC	700以上	7 9%	3 4%
		600-695	5 6%	12 16%
		500-595	19 25%	11 14%
		400-495	23 30%	21 28%
	395以下	23 30%	29 38%	
	英検	2級	21 27%	12 16%
準2級以上		30 39%	28 37%	
中国語	3級	1 1%	1 1%	
	4級	3 4%	2 3%	
	準4級	26 34%	14 18%	
韓国語	TOPIK	初級1級	4 5%	3 4%
		初級2級	1 1%	1 1%
		中級3級	1 1%	0%
日本語(留学生対象)		1級	1 33%	1 50%
PC	PC II 種	1級	0%	0%
		2級	5 6%	6 8%
		3級	6 8%	2 3%
	Amadeus	EXP	6 8%	0%
		SPL	44 57%	36 47%
サービス	サービス接遇検定準1級		1 1%	0%
	2級		0%	0%
	ホテル実務 Basic 2級		2 3%	0%
	日赤救急法		60 78%	1 1%
	アソシイトホスピタリティー		6 8%	10 13%
	サービス介助士		61 79%	60 79%
IATA DIPLOMA		1 1%	0%	

28年度生  
は1年次

※別添資料4

収益事業会員数(年度末実働数)

	25年度	26年度	27年度	28年度
合計	473	485	515	536
幼児	95	112	96	78
小学生	204	224	252	291
中・高生	54	60	70	69
成人	120	69	95	98